

青森市合浦公園の三誉の松の保護・保全事業実施報告書です。

名木の所在地	青森県青森市合浦二丁目17（合浦公園内）
名木の名称	三誉の松（合浦公園のシンボルツリー） 推定樹齢 460年
名木の所有者	青森市
治療年月日	平成23年12月1日（木）
樹木医による 名木の診断内容	三本の主幹が根元から立ち上がり、そのうち東側の主幹部は一部表皮が剥けて露出し、腐朽部がのぞいている。 南側の主幹部の一部には、腐朽菌であるマツオウジが寄生し心材腐朽が進んでいる。 西側、枝の先端部にはコブ病が寄生し一部の枝は、枝葉が変色している。 東側南側の樹冠部は健全で、葉色も良く全体的には健全性を保っている部分は多いが、南側の一部と西側の樹冠において衰弱が診断される。
実施した治療内容	高度な有機質を含む改良材と、土壌の有機質分解を促す微生物増殖環境とするため空隙率の高い活性炭により、PHの酸性度補正と土壌改良工を実施した。
今後の名木に 対する留意事項	西側の樹冠において衰弱が進んでいるので、今後も注意深く観察して、定期的な治療が必要である。



青森市合浦公園

合浦公園のシンボルツリーです。



樹幹から30cm程度離れたところを深さ

30cm程度の溝を一周掘り起こした。



掘り起こした土に、ルーフソイル・活性炭等を混ぜ合わせて、溝を埋め戻して、土壌改良工を実施した。